福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

事業名	森林経営管	理事業									事業コー	210104			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	:りが、自然、環境	で地域資源を受ける。	予り、	生かし、次世	代につないでいくま	ち	政策目標	3 自然と	:共生する	地域空間の	の形成		
以来许求	施策名	1 豊かな自然理	環境の保全と活用	1							施策コー	231			
事業担当	所属	25020000 産業運	汝策部 農林業振	興課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	款 00	6 農林業費	項 02	林業費	目	0	2 林業振興費		会計 0	1 一般会言	十 決算	付属資料	170	0	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名						R4現在の状	況	継続中	
根拠法令等	森林経営管	理法													
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事業 □	その)他 ()
関連事業												•			

R R							
事業基礎情	 報						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	森林の適正な経営や管理が 営や管理を行わなければなら このため、森林の経営管理に	らないこととなっている	5.				施行され、森林の適正な経
対象者	森林所有者(観音寺、室・市	寺、河守・河西)		対象者数	660	単位あたりコスト	101.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	官管理 口 補助金	交付 □	その他 ()
委託先-実施主体等	アジア航測株式会社						
事業概要 (箇条書き)	◇森林経営管理法による経 ◇経営管理実施権を設定す ◇森林航空レーザ測量デー ◇境界明確化を目的とした表 ◇市内の森林資源情報の整	る民間事業者の選定 タ及び公図等を活用し 条林航空レーザ測量】	:(観音寺地区) した森林境界明確化の実 及び森林資源解析の実施				
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容		
	報酬、職員手当等	1,226	臨時職員に係る報酬、職	战員手当			
主な支出に係る	旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金	68	先進地視察に係る旅費、	研修負担金、消	耗品等の購入、事業に係	系る文書の郵送	
業務内容と経費	委託料	19,033	森林航空レーザ測量及び	ゾ森林資源解析	業務、森林境界明確化業	務、市内の森林情報	の見える化業務
	使用料及び賃借料	67	複写機使用料				
	精立金	41 495	森林環境讓与税基金積	立金			

|| 予算執行状況

		<u>了异类11 (A)</u> 区 分		R2(評価前年	度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	E)	R5(要	求年度)	
	1	当初予算			45,406			53,768			113,322			82,173
予	2	補正予算			0			9,116			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小	H(1)~3)			45,406			62,884			113,322			82,173
予	1	一般財源			35,059			62,884			59,509			0
算	2	国支出金			0			0			0			0
財源	3	府支出金			0			0			0			0
内訳	4	地方債			0			0			0			0
九	(5)	その他特財			10,347			0			53,813			0
*	1	流充用額			0			0						
決算情	2	配当予算			45,406			62,884						
情 報	3	執行額			42,125			61,890						
15.		執行率			92.8%			98.4%						
人概	1	従事職員数 (正職員 / 非常動爆託職員)	0.72	/	0.00	0.60	/	0.00	0.60	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			5,760			4,800			4,800			0
(予	算執	タルコスト 行額+概算人件費)			47,885			66,690			4,800			0
(N	主	な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		 決算付属資料		頁
(IV		十戊大根胆/												

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	森林整備面積(市全体)	ha	266	/	565	181	/	587	集計中	/	587	/		587
実績/目標	林産物(素材)の)生産額	百万円	310	/		622	/		集計中	/		/	350	430
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	森林経営管理権	設定地区	箇所	0	/	1	1	/	1	0	/	2	/	2	31
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト					42125.0							
実績/計画					/		1	/			/		/		森林経営管理事業
		単位あたりコ	コスト												

項	B	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必引	要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	森林経営管理法に基づき森林の適正な経営や管理を進めるため、市が実施すべきものである。 令和3年度については、主に森林の境界明確化意向調査を円滑に進めるため、レーザ 測量及び森林資源解析を実施した。	日 京 、
効፮	率 性	優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	財源として、国から譲与される森林環境譲与税を充当し事業を実施している。 事業内容においては、見積徴取や国の単価参考資料と比較することにより、コスト削減 を実施している。	✓ 高い□ やや高い□ やや低い□ 低い
有多	効性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業体が管理することになるため、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。令和3年度については、森林経営管理権を設定した箇所(観音寺地内)において、林業事業体の施業に関する提案募集を行い、事業体の選定が完了した。	
含めた目	りな面も 自己評価 状の課題	◇室・市寺地区において、森林航空レーザ測量の 出すことができた。 ◇森林航空レーザ測量及び森林資源解析を行う (課題) ◇令和元年度から全国で始まった制度で先進事	日本いて、経営管理実施権の設定を行う民間事業者を選定することができた。 カデータに加え、旧公図や地元所有資料を活用した境界明確化を行うことで、今後の境界明 にとで、新たに河守・河西地区の森林資源情報を取得することができた。 例が少なく、取組みを進めることで見えてくる課題が多い。 り探索及び森林の境界明確化の効率的な進め方を確立する必要がある。	確化業務の進め方を見
	善策	し、他市との課題の共有を行う。 ◇令和4年度に発注する「境界明確化業務」にお 提案を募集したうえで業務発注を行う。 ◇今後は、森林航空レーザ測量及び森林資源解 していく。	変理サポートセンターが中丹地域の本事業担当者を集め、月に1度会議が開催される予定でいてプロポーザル方式を実施し、単年度で広い面積(1,000ha以上)の境界明確化を効率的に保析の結果を活用し、上記のプロポーザル方式で採用する森林境界明確化を行った上で、経	進めるため、事業体の
	次評価(事業所属外による他部署評価)	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

_ Ⅵ 計価をいまた	- たみ十尺 手来 カゴ	
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in well a	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
7 37 30 77 51	☑ 事業の見直しなし	

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		☑ 予算縮減			
P.异及吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 1 215/11/4 1-															
事業名	福知山千年	この森づくり事業									事業コー	-ド 220	401		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが	、自然、環境	もで地域資源を できる かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	<u></u>	生かし、次世	せ代につないでいくまち	政策目	票 3 自然	と共生す	る地域3	空間の形	/成	
以来许求	施策名	1 豊かな自然理	環境(の保全と活用	1						施策コー	-ド 231			
事業担当	所属	25020000 産業	汝策 8	部 農林業振	長興課				所属長	藤澤和	र्ड				
会計情報	款 0	6 農林業費	項	02	林業費	目	O	2 林業振興費	会計	01 一般会	計 決	算付属資	料	174	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終	了予定年度	令和20年度	具]連計画名	福知山千年の森づくり基	本計画			R4現在	の状況	継続中	1
根拠法令等															
事業区分	口 法定受	託事務 ☑	国府	F補助事業	☑ 市単独	事業	口内部	部庶務的事業 □ その	D他	()
関連事業															
重業其礎情	·報														

事業基礎情	報							
	「福知山千年の森づくり基本 見・再定義を通じた関係人口 づくりを行う。							
対象者	国定公園来訪者数			対象者数	73,000	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 口 指足	E管理 口 補助金	交付 口	その他 ()
委託先·実施主体等	株式会社地域計画建築研究	所						
事業概要 (箇条書き)	◇関係者に参加いただいた。 ◇令和4年度に実施予定である。				年の森づくり基本計画」を	・次のステージに進め	るために改定した。	
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容			
	報償費	272	福知山千年の森づくり基	本計画改定に係	系る意見交換会員報償			
上の人田にから	需用費	121	福知山千年の森づくり基	本計画書概要版	可刷			
業務内容と経費	委託料	7,755	福知山千年の森づくり基	本計画改定業務	8、トレイルラン教室実施	計画作成業務		
	使用料及び賃借料	2	福知山千年の森づくり基	本計画改定に係	る意見交換会会場使用	料		

Ⅲ 予算執行状況

	2	<u>7 并 秋 17 1八</u> K 分		R2(評価前年	度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			2,826			9,183			7,260			6,322
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
情報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	+(1)~(3)			2,826			9,183			7,260			6,322
予	1	一般財源			0			0			0			0
算品	2	国支出金			0			0			0			0
財 源	3	府支出金			2,826			2,750			7,260			0
内	4	地方債			0			0			0			0
訳	⑤	その他特財			0			6,433			0			0
2tı	1	流充用額			△ 2,083			0						
	2	配当予算			743			9,183						
惰報	3	執行額			1			8,150						
		執行率			0.1%			88.8%						
人概		従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.50	/	0.00	0.50	/	0.00	0.00	/ 0	.00
工算	2	概算人件費			1,840			4,000			4,000			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			1,841			12,150			4,000			0
	ͺ	erenden.		福知山千年の森づくり	リ事業(豊かな森育てる府民	税市町村交付金)		農林業費府補助]金		3,3	11	28	
		¥利用特財 年度実績値)	特財名称	豊かな森を育	てる基金繰入金		種類	基金繰入金		実績金額	4,8)9 決算付属資料	40	頁

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	国定公園への来	₹訪者数	人	123000	/	257000	114000	/	257000	73000	/	257000	/	-	257000
実績/目標	自然環境の保全・活	括用事業の参加者数	人		/	-	859	/	1	803	/	-	/	970	1240
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	千年の森づくり	舌動参加者数	人	292	/	133	23	/	146	52	/	146	/	146	146
(アウトプット)		単位あたり=	スト		0.9						156.7				
実績/計画	イベント(#千年の	(森)の参加者数	人	-	/		3	/		-	/		/	福魁山	千年の森 209 くり事業
		単位あたり〓	スト												

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、様々な取り組みを集約化し、今後の取り組み方法等を定めることは、民間事業者や市民は実施できないものである。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	令和3年度については、意見交換会を実施するなど様々な意見を取り入れ、これまでの計画の実績や昨今の環境・経済・社会の変化等を鑑み、平成20年度に策定した福知山千年の森づくり基本計画を改定した。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	計画改定業務を発注する際は、「公募型プロポーザル方式」を採用し、より効率的な提案のあった業者を選定した。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	他の自治体でも計画作成の実績を持つ業者により、先進事例の分析や聞き取り調査等 も十分に行った上で、福知山千年の森づくり基本計画の改定及び大江山トレイルラン教室 実施計画の作成を行った。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	◇まず、次のステージに進めるための計画改定を	業展開を行うための推進体制の確立を行い、目的達成を目指したい。 っていない。 されていない。	
改善策	<	来ず、地域の方の力だけでは支え切れないため、地域外の人も含めた多様な主体を巻き込むた取り組みを展開し、次世代の担い手づくりにつなげるとともに親子で参加できる場を醸成す発信し、地域全体の発信に寄与することとする。	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
15 W = 0	☑ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	・新たに福知山千年の森づくり事業に関する専用HPを作成し、市民全体へ発信する。
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	・令和4年度から実施したトレイルランについて、対象を小学生から親子へ広げ、幅広い年代の方が自然に興味を持って触れ合
1 37 24 47 5 21	□ 事業の見直しなし	うことができる機会を醸成する。

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	☑ 予算拡充	□ 予算縮減			
了异众吹帽不	□ 他事業を統合	(統合事業名: —) □ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート - 事業属性

事業名	環境基本計	·画推進事業									事業コ	1一ド 5	520113		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、	自然、環境	で地域資源を	fり、	生かし、次世	せ代につないでいくまち	政策目標 3 自然と共生する地域空間の形成					形成	
以來许求	施策名	1 豊かな自然班	環境の	保全と活用	1			施策コ	1一ド 2	231					
事業担当	所属	25080000 産業政	女策部	阝 エネルギ	一・環境戦略課		所属長	谷口 智	冒広						
会計情報	款)4 衛生費	項	01 保	健衛生費	目	0	5 環境保全費	会計	01 一般会	計	 臭付原	属資料	152	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了	7予定年度	令和4年度	関	連計画名	計画			R4到	見在の状況	継続口		
根拠法令等	環境基本法														
事業区分	□ 法定受] 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🔻 🗗 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()	
関連事業	福知山市環	境基本計画(中間	引見直	[し)策定事	業※令和2年度	のみ									

事業基礎情	報													
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)		市民一人ひとりが環境問題を身近に捉え、再生可能エネルギーの普及を通して、温室効果ガスの排出削減に取り組むための指針を示すとともに、環境問題や自との共生を自分事として捉える機運の醸成を図り、次世代に誇れる環境に配慮したまちづくりの実現をめざす。												
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	至管理 ☑ 補助金	交付 口	その他 ()						
委託先·実施主体等	福知山環境会議													
事業概要 (箇条書き)	・地球温暖化対策実行計画(・福知山環境会議と協働した(主要プロジェクト)みどりのか・福知山市附属機関設置条件	第2期福知山市環境 ーテン実施率日本ー/由	基本計画に掲げるリーテ 良川・里山/生きもの調査/1	ディングプロジェク サケの飼育と採捕・	トの実施)堆肥化による資源の有								
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	588	環境基本計画推進事業	交付金										
主な支出に係る														
栗務内容と軽質	業務内容と経費													

|| 予算執行状況

		区 分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	更)	R5(要:	求年度)		
	1	当初予算			588			588			15,908			1,183	
予	2	補正予算			0			0			0	0			
算情報	3	繰越予算			0			0			0	0			
報		前年度繰越			0			0			0)			
		次年度繰越			0			0			0			(
	小	th(1)~(3)			588			588			15,908			1,183	
予	1	一般財源			294			331			614			739	
算財源	2	国支出金			0			0			15,000			(
源	3	府支出金			294			257			294			444	
内訳	4	地方債			0			0			0			(
76	5	その他特財			0			0			0			(
э т	1	流充用額			31			0							
算	2	配当予算			619			588							
決算情報	3	執行額			619			588							
		執行率			100.0%			100.0%							
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動嚷託職員)	1.11	/	0.10	0.37	/	0.00	0.37	/	0.00	0.00	/ 0	.00	
工算	2	概算人件費			9,130			2,960			2,960			C	
卜- (予:	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)				9,749			3,548			2,960			C	
				環境基本計画	推進事業(きょうと地域通	護携交付金)		衛生費府補助金	Ì		25	57	26		
(N	主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁	

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	プロジェクト活動	参加人数	人	2,971	/	3,100	1,091	/	3,200	866	/	3,300	/	1,000	1,000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	プロジェクト活動実施回数			111	/	100	94	/	100	40	/	100	/	50	50
(アウトプット)		単位あたりコ	スト		5.6			6.6			14.7				
実績/計画					/		5	/			/		/	環	境基本計画推進事業
		単位あたり二	コスト												

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・環境保全にかかる啓発活動の中心となる事業で、目的達成に不可欠な事業である。市 民によるボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・団体の個人会員や企業会員等が、自治会や学校等の関係機関と連携しながら、率先して自主的に環境ボランティア活動に取り組んでおり効率性は高い。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	・市内における環境保全活動の普及・啓発並びに地球温暖化防止活動の推進を行っている団体を支援することにより、リーディングプロジェクトごとの環境保全活動等が積極的に展開され、市民及び事業所の環境保全意識を高めるには効果的かつ効率的である。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・市内の様々な団体、事業者、学校と交流や連携をしながら活動を実施できている。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	・リーディングプロジェクトごとに活動を計画し、コロナ禍においてもオンライン等を取り入れながら環境保全活動を積極的に実施することで、環境保全に関する市民の意識向上につなげている。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	■コロナ禍の影響により市民参加を募った活動が	が実施できなかったことでプロジェクト参加者数が減少したが、オンライン等を取り入れながら	活動を継続した。
	■市民の環境保全意識をさらに高め、環境保全	活動への新たな参加者を増やす取組が必要。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題			
	■オンラインによる活動も継続して行えるよう設備	帯や体制を整理し、リーディングプロジェクトごとに実施方法を考える。	
	■環境保全にかかる取組を広く周知し、市民誰も	が気軽にリーディングプロジェクトに参加できるよう工夫する。	
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☑ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	☑ 統合/組換	施策レビューでの指摘事項を踏まえ、新たな事業実施主体の形成を狙い、新たなメンバーと連携を図りながら事業を進めること
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	とする。具体的には、(仮称)エネルギー環境基本計画の中で記載のあるプラットフォームを具体化するため、脱炭素先行地域 認定事業を進める際に関係する事業者との連携体を構築するなど、事業者が主体的に各種事業を推進する体制づくりを行な
1 37 24 77 21	□ 事業の見直しなし	วิ.

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	□ 予算縮減	
了异及吹和米	□ 他事業を統合	(統合事業名:		☑ 他事業へ統合 (統合先事業名: ゼロカーボンシティ推進事	業)



稻	决	山市	方令	和4	年度	事	務事	業	評化	あシ	_	۲					(単位:千円)		
- 1	事	業属性																	
	事業	集名	環境保全一	-般事業(エネル-	ギー・環境戦略	各課)								事業コー	-ド 520136	6			
	TOTAL AND	:H-&	基本政策	2 市民一人ひる	とりが、自然、	環境や	地域資源を守	守り、生か	し、次世代	せにつない	でいくまち	政策目标	票 3 自	然と共生す	然と共生する地域空間の形成				
	政策	件术	施策名	1 豊かな自然	環境の保全と	活用						•	•	施策コー	ード 231				
	事業	担当	所属	25080000 産業	政策部 エネ	ルギー・	環境戦略課					所属長	谷口	谷口 智広					
	会計	情報	款	 04 衛生費	項 0	1 保健衛	新生費	目	05	環境保全質	費	会計	01 一角	会計 決	算付属資料	1	152 頁		
	計画	期間	開始年度	令和3年度	終了予定年	度	令和3年度	関連計	画名 礼	国知山市環	境基本計画	画、地球温明	爰化対策	実行計画	R4現在の	犬況 代	上事業へ統合 と事業へ統合		
	根拠法	去令等	福知山市附	┸ 対属機関設置条例	i]									I					
	事業	区分	□ 法定受	·託事務 🗆 🗆	国府補助事	業	☑ 市単独	事業	□ 内部	 东務的事業	<u> </u>	· の他	()		
	関連			<u>ニュ・ルー</u> ピエネルギー推進		•		7					•						
11		業基礎情		1,12,1	7 2133 2213 28 28		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7												
(事業施策実現		SDGsの理	秘 SDGsの理念に呼応し、環境・エネルギーの分野において「環境・経済・社会」の好循環を踏まえた福知山の将来像を考え、その実現に向し し市民の意見を反映させる。												針(基本	計画等)に対		
	対象	 放 者	全市民						対	象者数	76	6,377	単	立あたりコス	.	0.0)		
	実施		☑ 直接実		—————— 務委託	口指足	字管理 定管理	口 補助			その他	(')		
委		がある。 発施主体等		学教授、医師、商							()								
	事業(箇条		※令和4年	ける環境に係るが 手度より、環境基	本計画推進事	業と統		し、音中で 	· 文() る。	歩/こ、 寺()				水圧に火切	CC E 30				
				係る主な費目	支出実績		I+ ^	. ≠ D +n Ti	11			主な業務内	谷						
			報酬				環境審議会		¶										
		出に係る 容と経費	旅費			10	費用弁償(3	父进貫)											
	- A	10° 41 25 JN	\ <u>'</u>																
		算執行状	.沈 <u>.</u>	D0/部体长中	`		D0/57	压左击\			D4/:	+ <i>+</i> -#\			DE/T				
	区	分		R2(評価前年度	0		R3(FF1	価年度)	1.0	10	R4 (,	本年度)		0	安)671	求年度	0		
_		初予算			0				12	0				0					
筝算		正予算 															0		
情報		越予算			0					0				0			0		
718	-	前年度繰越			0					0				0			0		
	ds =1.7€	次年度繰越			0					0				0			0		
	小計(①				0				12	_				0			0		
予	① =	支出金			0				12	0				0			0		
算財源	_	支出金			0					0				0			0		
源内	④ 地:				0					0				0			0		
訳	_	<u>の</u> の他特財			0					0				0			0		
		充用額			0					34									
決		当予算			0				16										
算情	3 執				0				16										
報	④ 執				0.0%				100.0										
	① 従ョ		0.00	/		0	22	/			00	/	0.00	0.0	20	/	0.00		
人概工算	(正職員)	事職員数 /非常動爆紅職員) 算人件費	0.00	/	0.00	U.	23	/	0.00		00	/	0.00	0.0	50	/	0.00		
		リスト レコスト			0				1,84										
(子	アノ	レーヘト	1		0				2,00	2				0			0		

Ⅳ 業績指標

主な利用特財 (N-1年度実績値)

特財名称

成里宝籍	指	標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	計画策定進捗率	<u> </u>	件	/	/	100 / 100	/	100
天模/日保				/	/	/	/	
	指	標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
活動宣籍	審議会開催		箇所	/	/	2 / 2	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたりコ	スト			81.0		
天模/ 訂				/	10 /	/	/	
		単位あたり〓	スト					

実績金額

決算付属資料

頁

種類

	項		手業担当所属内による目に評行 評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業	・環境に関する指針や計画の策定において、各専門的な知見からの意見・助言が必要であるなか、官公庁や大学を始め様々な分野の専門家により構成される本審議会を開催	に対する貢献度
	必要	更 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	し、的確な意見や助言を得ることが出来た。	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・専門家報酬のみとなっており、最低限必要な経費のみで運営できている。	□ やや高い
	効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・指針及び計画策定完了時期に対し、計画的に審議会を開催し、的確な意見及び助言を 得ている。	
	有效	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			令和3年度においては、令和4年度末を目記	途に策定を進めている福知山市エネルギー・環境基本計画について、専門的な意見・助言を得るこ	ことが出来た。
	定性的	な面も			
	含めた自 及び現状				
			今後も、計画の策定スケジュールに合わせ	て遅延なく審議会を開催し、専門的な意見・助言をいただく予定にしている。	
	改善	策			
$\overline{\mathbb{V}}$	二次	大評価(事業所属外による他部署評価)	
,	事後評価	i-141.k		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
	- 192 BT WI	14771		ず未町 脚大心 女に 心 戦 (が) 永ず未り/ ()	
VI	評句	 西をふまえ	 .た次年度事業方針		
			方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	40 ak =	HI O	□ 事業の見直し		
	担当事業の	見直し	□ 統合/組換		
	及(予算要3		□ 廃止/休止		
			□ 事業の見直しなし		
VII	予算	草反映結	果		
	予算反明	华結 用	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
	了并从用	小和 不	□ 他事業を統合 (統合事業名: -	-) ☑ 他事業へ統合 (統合先事業名: 環境基本計画批	推進事業(R4~統合))

福		知山市 事業属性	声令	和4.	年度	事	務事	3 4	紫評	価う	, —	۲					(単位	: 千円)
		事業名	都市計画費	是一般管理事業										事業=	コード 5	10201		
			基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、	環境や	地域資源を	守り、	生かし、次世	せ代につない	ヽでいくまち	政策目標	3 自然	と共生	する地域	或空間の形	/成	
	政	牧策体系	施策名	1 豊かか白鉄	豊暗の保全と	·活用								施第=	コード 2	31		
	-	事業担当					3					記屋 E	世田 🏃		- 1 2	-		
			1111111					_		+n +=1 -= 44	7/r #P				+ 年 4 目	2 29 Ard	100	_
	_	計情報		1						10000000000000000000000000000000000000	務負	云訂	刀 一般宏	āT Z	1			頁
		画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年	度	市和8年度	関	連計画名						R4玙	祖在の状況	継続	市中
	根	拠法令等																
	4	事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補助事	業	☑ 市単独	事業	☑ 内部	邻庶務的事	業口そ	の他()
	関	国連事業																
Ш	ded	事業基礎情	·報															
	拖策	集目的 実現に向けて パ果たす役割)																:都市
	3	対象者	市民							対象者数	77	7,000	単位は	あたりコ	スト		0.8	
	美	尾施方法	☑ 直接実	施 ☑ 業務	务委託	口 指足	定管理		補助金交付		その他	()
委記	先	: 実施主体等	アジア航測	株式会社京都支	店、石原自治	会 ほか	<u></u>											
		事業概要 第条書き)	·区画整理 ·委任工事 ·都市計画 ·都市計画	に係る証明等の 設計、監督に係る 審議会及び景観 図の修正、印刷に	費用 5人件費 審議会開催に 5係る費用	係る人	件費 など											
			支出に	係る主な費目	支出実績	(R3)					Ė	i は業務内容	3					
			委託料			3,049	都市計画図	図修正	、自転車等	駐車場清掃	管理業務等							
3	Eな:	支出に係る	報酬			1,735	都市計画審	F議会	委員報酬、	臨時職員報	西州							
剪	務	内容と経費	需用費			1,337	事務用品等	手の消	Í耗品購入									
			役務費			368	郵送料等											
			負担金補助	及び交付金ほか		666	都市計画協	協会等	の負担金(まか								
III	3	予算執行状	況		•		•											
	Z			R2(評価前年度))		R3(評	価年	度)		R4(:	本年度)			F	₹5(要求年	度)	
	1	当初予算			3,225				8,0	669			7,382					9,704
予	2	補正予算			2,037					0			0					0
算情	3	繰越予算			330					0			0					0
報		前年度繰越			330					0			0					0
		次年度繰越								0			0					0
	/l\ <u>=</u> -	†(①~③)							8.1									9,704
		一般財源											-					8,748
予 算	_	国支出金							,,,									0,740
財源	_	府支出金																139
源内	_	地方債																0
記		その他特財							1 (817
		流充用額											020					017
決	-	配当予算			_													
決算情	_			開始年度 昭和30年度 桜子予定年度 今和8年度 関連計画名 R4項在の状況 軽続中 法定受託事務 2 国府補助事業 2 市単独事業 2 内部庶茂務的事業 その他 (
報		執行額			-													
		執行率 従事職員数	0.04	,			47	,			. 47	/	2.15		200	,		20
人概 工算		従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	6.21	/	0.10	б.	47	/	0.15		5.47	/	0.15		0.00	/	0.0	
— ,	(2)	概算人件費			49,930				52,	I 35			52,135					0

Ⅳ 業績指	標
-------	---

トータルコスト (予算執行額+概算人件費)

主な利用特財 (N-1年度実績値)

成果実績 指標		単位		R1			R2			R3		R4		最終目標	
(アウトカム)	定性的評価				/			/			/		/		
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動室籍	研修参加回数			11	/	18	4	/	12	6	/	12	/	13	
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		334.1		12	747.0			1192.7				
実績/計画	都市計画審議会	開催回数		0	/	3	1	/	3	2	/	2	/	2	

59,291

土木手数料

種類

土木費府補助金

物品売払収入

52,135

実績金額

791

139

78

決算付属資料

14

28

34

頁

52,918

屋外広告物許可申請手数料

土地利用規制対策交付金

都市計画図書

特財名称

-					
	単位あたりコスト	-	2988.0	3578.0	

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果

□ 現状維持

□ 他事業を統合

□ 廃止/休止

(統合事業名:

必要性	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・主に事務的経費に係る予算であり、恒常的に必要な経費である。 ・都市計画審議会の開催や関係法令の規定に基づく手続き等の適正な運用を図ることで、環境や地域資源を生かした魅力ある都市空間の形成を推進する。	
	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	で、環境や地域負源を生かした魅力める郁甲空间の形成を推進する。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・都市計画審議会の開催にあたり、委員のオンラインによる会議出席を可能とすることで、 開催日の調整期間を短縮した。 ・関係機関等との会議は、ウェブ会議を積極的に活用し事務の効率化に努めた。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・事業の目的・目標を達成するため、職員の積極的な研修参加を推進し、専門性や能力の向上を図る。 ・関係法令の規定に基づく届出や許可等の手続き事務が適切な運用のもと着実に実施さ	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	れることで計画的な土地利用が推進される。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運賃	
	ジ公開し多様なニーズに対応することで印刷費	費用が高く、在庫を確保することが困難なため、一部の都市計画図について、プリントアウト可 費を縮滅した。 リモートによる会議や研修を積極的に活用した。今後は、市民サービスの向上をめざし、各種・	
改善策	を進める。	5民のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、販売や在庫の確保・管理方法の手続きのオンライン化に積極的に対応する。	の見直しを含めた様
VI 二次評価(事	「業所属外による他部署評価)		
		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
事後評価コメント			
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
V∥ 評価をふまえ 担当課の	方針区分 □ 事業の見直し	評価を踏まえた見直し内容	
VII 評価をふまえ	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	

☑ 予算拡充

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合

(統合先事業名: —